

2023年10月16日

報道関係各位

－ 薬用作物の産地化に対する取り組み事例 －
薬用作物(生薬)産地化推進のための行政担当者情報交換会
開催（ハイブリッド形式）のご案内
薬用作物産地支援協議会

薬用作物産地支援協議会（東京都文京区）では、農林水産省の補助事業「茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業」を活用した取り組みの一環として、「薬用作物(生薬)産地化推進のための行政担当者情報交換会」を開催します。

薬用作物は、耕作放棄地・中山間地域等の有効利用に貢献する作物として期待されると同時に、医薬品の原料確保のために重要視されています。薬用作物産地支援協議会では、関係機関や団体等と連携し、生産者側と実需者側とのマッチング、栽培技術指導者の育成、各種情報の発信等を行い、各地域における産地化の取り組みを推進しています。

今回開催する行政担当者を対象とした情報交換会は、先進的な取り組みをされている産地の紹介および意見交換を通じて、薬用作物の産地化を促進することを目的としています。

ぜひ、別紙開催内容をご参照の上、お申込みいただきご参加ください。

なお、本会は、会場もしくはZoomによるオンラインでご参加いただけるハイブリッド形式にて開催いたします。

以上

【お問合せ先】

薬用作物産地支援協議会 事務局（飯田 修）

TEL：03-6264-8087

FAX：03-6284-2534

E-mail：soudan@yakusankyo-n.org

薬用作物（生薬）産地化推進のための行政担当者情報交換会

【開催日時】 2023年10月31日（火）13：30～16：30

【開催会場】 AP 東京八重洲 12階 ROOM F+G
（東京都中央区京橋 1-10-7 KPP 八重洲ビル）

【申し込み方法】 下記のいずれかの方法によりお申込みください。

- ホームページ(下記 URL)からのお申込み
<https://www.yakusankyo-n.org>
- メール（宛先：soudan@yakusankyo-n.org）によるお申込み
- ファックスによるお申込み

【プログラム】

1. ご挨拶

- ・農林水産省
- ・薬用作物産地支援協議会

2. 秋田県八峰町における薬用作物栽培

演者：秋田県八峰町農林振興課 副課長 門脇 朝哉 先生

内容：八峰町生薬栽培は、耕作放棄地の解消と新たな高収益品目の確保を目標に定めて取り組み始めたが、国内栽培の普及が進んでいない品目に着手したことから様々な課題に直面してきた。試行錯誤を繰り返してきた10年間で見てきた課題解決の方向性と検証方法、現状と今後の展望等について紹介する。

3. 三重県における薬用作物栽培

演者：三重県農業研究所茶業・花植木研究室 花植木研究課 主幹研究員兼課長 市川 昌樹 先生

内容：三重県鈴鹿地域では特産の植木類の需要低迷に危機感をもち、産官学で機能性成分を有する樹木類の検討を進め、シャクヤクの葉や花の抗菌作用に注目し、栽培を始めた。生薬利用だけでなく葉や花の利用方法の開発も行いながら、地域でのイベントや商品づくり、農福連携の取り組みなど、地域の活性化につなげている。

4. 意見交換会

講演内容ほか、事前にいただいた薬用作物産地化に関する質問に関して意見交換を行う。

また、終了後は名刺交換の時間を設ける

【オンライン参加の方へお願い】

- ① ご参加の際は、ご所属とご氏名が表示されるよう（ZOOM）設定をお願いします。
- ② 当日の資料については、下記アドレスより配布資料をダウンロードした上でご聴講ください。

【配布資料 URL】

<https://www.yakusankyo-n.org/event/i2023.htm>

「薬用作物(生薬)産地化推進のための行政担当者情報交換会」

参加申し込み(報道関係)

下記必要事項をメールにてご連絡下さい

メールアドレス soudan@yakusankyo-n.org

※メール以外の申込の場合は、本申込書をご利用ください

- * ご希望の参加方法を○印にてお知らせください。
- * お申込をいただきましたら、事務局よりご案内(メール)をお送りします。

期日・会場	会場で参加	オンラインで参加
2023年10月31日(火) AP 東京八重洲		

貴社名
ご芳名
メールアドレス

お申し込み先 薬用作物産地支援協議会事務局
担当：飯田 修

FAX 03-6284-2534

メール soudan@yakusankyo-n.org